

弥生を迎えて

分所長 高木敏彦

三寒四温と言いますが、寒かった冬が終わりに日に日に、草花の咲き乱れる春を迎え、子供たちも新学期に向け心を躍らせている頃となりました。

先月は碧南の藤井達吉美術館にて思いもかけず聖師さま、開祖さまの御作品の展示がされ驚きと感動で鑑賞させて頂きました。大本の主催ではなくこつこつといった一般の展覧会で他の有名な作家の作品の先頭を飾っていたことを誇らしく思ったものです。岡本眞さんより教えて頂かないと見落としてしまうところでした。

さて、分所長を拝命して2期6年になりました。今年には役員改選の時期を迎えます。4月には信徒総会を開催して次期役員を選出をお願いします。

祈りと人間的努力

出口 直日

関東大震災がおこった年でした。罪もない子供がたくさん焼け死んだと聞かされて、『神さまなんて何だ』と理屈を言っただけ、神さまを疑ってかかった頃もありました。日出磨先生と結婚いたしました後も、今から思いますと、先生によく理屈をいって解決を迫り、先生を困らせたものです。

ところが、昭和10年の大本事件となり、父母も日出磨先生も、信頼していた人々も身辺から奪われ、たれ一人相談相手もなく一人ぼっちになってしまい、どうしてよいか判らない境地に立たされますと、理屈をいっているどころではありません。ただ一心に神さまを拜んで事件の解決に当たりました。国家権力を使って行われた事件ですから、手のつけようもなく、そうするより外にはなかったのです。その時、努力の果てに、行き詰った時とか危険な時には、かならず霊夢でお知らせがあつて救われました。あの時、熱心に信仰している人々から「これは神様のお仕組だから弁護士など要りません。自然に解決する時節を待つことですよ」と言っただけ、私の行き方に真向から反対してくる人もありません。

神さまのお仕組であるとしても、人間には人間のつとめがあるものと私は信じていました。

「寸葉集より」

本苑春季大祭奉納冠沓句

冠句題 『支え合い』『手を合わせ』『大祭』

『二』

沓句題 『開祖伝』

締切 4月21日(日)

主な行事予定

3月10日(日) 午後1時半より

碧南分所月次祭 担当第3班

3月16日(土) 午前10時より

直心会・みどり会講習会(包丁研ぎ)

3月17日(日) 午前10時より

三河本苑月次祭・全体会議 ひな祭り茶会 担当第2フロッグ

3月24日(日) 午前10時より

第2回新聞ちぎり絵 本苑多目的ルーム

3月27(29)日(水)金)

高校生講座 天恩郷にて

3月30・31日(土・日) 午前9時より

祭式3・4級認定講習会 本苑にて

4月14日(日) 午後1時半より

碧南分所月次祭 担当第1班

4月21日(日) 午前10時より

三河本苑月次祭・直心会役員支部長会議

4月28日(日)

万祥殿献勞

3月の誕生者

おめでとうございます！

奥谷 建児 8日 松村 征哉 9日 北條 幸代
 藤浦 公明 杉浦 文江 10日 栗津夕理 15日
 蒲生 陽菜 20日 樺山美智子 高橋政明 21日
 山田 奈々 23日 高橋 いずみ 28日 蒲生
 奈々 大塚 海音 30日